

# 進撃の旅行記

クレイモア

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

山登りの途中で道に迷い、気が付けば進撃の巨人の世界へと迷い込んでいた主人公のお話。

※主人公に原作知識はありません。

# 目次

遭難  
異変

1  
5



# 遭難

さてと。山の中だから携帯の電波は圏外で使えないし、というかそもそもバッテリーがきれてるし、持ってきていた磁石は狂ってるし、更に言えば地図は落としたし。

うーん……これはあれだ。

完全に迷子。ザ、遭難ってヤツだな。

慣れた山だからってちよつと登山道から外れたのが失敗だったわ。

ハハハツ、もう笑うしかない。

……しつかし、俺は今日の辺を歩いているんだろうか？何かいつの間にか山の植生が自分の知っている山と全然違ってるんだよね。

そこら辺に生えている木も俺の背丈ぐらいしかない若木ばかりだし。苗畑にでも迷い込んだのかな？

まあ、元々山で一泊する予定だったから色々な道具や食料はあるし、非常用の備えもしてあるから2〜3日ぐらい迷っていても大丈夫なだけけど。

それでもやっぱり早めに帰り道を見つけないと不安——つと言っている側から遠くに人工物発見!!はあく助かった。

……うーん。何これ。

遠くから見た時はでっかい扉だと思っていたけど近付いてみたらデカイ壁だった。

それで、近くにあつたぶつ壊されていた門？から壁の中に入つてみたら精巧に作られた廃墟のミニチュアハウスの町があつただけど。

まあ、ミニチュアアつて言つても俺の背丈ぐらいあるんだけどね。

んー……特撮のセットかな？

金持ちが自分で映画を撮るためにでも作ったのか？

にしても妙にリアルだな、このミニチュアの廃墟。

何と言うか本当に小人が作つて住んでいたみたいなクオリティなんだけど。

あ、奥にまた壊された入り口がある。

……行つてみるか？いや、でも不法侵入とか言われたらややこしいなあ。

まあ、遭難してる身だし事情を話せば分かってくれるか。

という訳で行つてみよう。

さて、そんな訳で更に奥へとやつて来たわけですが。

道中も何か打ち捨てられた村とか古城とか砦とか、そんなミニチュアが沢山あつた

し、やっぱりここは特撮の撮影現場か何かなのかな？

ちなみに森もあつたけど、また迷うのが嫌で避けてました。

つと、またさつきと同じような白い壁を発見。

入り口はどこかな〜……えつと、また入り口がぶつ壊されているんだけど。

何か不吉だなあ。ま、とにかく。

「お邪魔しま〜した〜……」

……ヤバイ。

ヤバイヤバイヤバイ!!

何がヤバイって、何か全裸のオツサンがいつぱい居た!!

というか、ち?こ丸出しで何か嬉しそうにミニチュアの町を歩き回ってた!!

絶対これはヤバイ場所に迷い込んだよ!!

よし。……オツサン達に気付かれない内に逃げよう。そうしよう。

ゆっくり回れ右——って、何か俺が来た方角から全裸のオツサン集団がこっちに向  
かって来てるんですけど!!

逃げ場が無ねえ!!

え、ええい!!しようがない!!こうなったらミニチュアの町の中に隠れてやり過ごすし

かない!!

行くも地獄、戻るも地獄だよ。コンチクショー!!  
こんなところ来るんじゃないかった!!

## 異変

あ、ありのまま今目の前で起こっている事を話すぜ!!

迷い込んでしまった野外映画スタジオオらしき敷地中で特撮マニアの（全裸の）オッサン達が自ら怪獣か何かに扮してはっちやけているんだと思っていたら、変な機械を腰に付けてスパイダーマンみたいに家々の隙間を自由自在に飛び交う小人達が現れた。

何を言っているのか分からないと思うが俺自身、目の前の光景が信じられない。

それに小人達の存在だけでも驚きなのに全裸のオッサン達はその小人達を捕まえて次々と捕食している。

一瞬、あれらはロボットや立体映像か何かかとも思ったが、この場にいるからこそ分かる。

オッサン達にしろ、小人達にしろ、どちらもロボットや映像なんかのそんなチャチなもんじゃ断じてない。

あれらは明らかに生命体だ。

しかし、オッサン達は一見すると人間のようだがその実、化物か何かのようだ。

それに対して血を流し恐怖の悲鳴を上げる小人達は人間に近い生物だろう。

遠くてよく分からないが言葉を使って連携を取っているような社会性があるようだし。

……ガリバ？旅行記か借りぐらし？アリエッティの世界にでも迷い込んだのか、俺は。

それにしてもオツサン達が小人を捕食するシーンがグロすぎて頭がどうにかなりそうだ。

……とりあえずこんなヤバイ場所からはさつきとおさらばしよう。

つて、やべえ!!

見るのに夢中になっていたら5、6人の小人と3人のオツサンがこっちに向かって来てる!!

早く逃げないと巻き込まれ——あ。

「……」

振り返ったら髭を生やした全裸のオツサンが居た。

というか、何か知らんが勃？してるんですけど!!

ほ、掘られる!?

あ、ちよ、無言でこつち来るな!!

クツ、こうなったら覚悟を決める、赤井（あかい）永蓮（えれん）!!

「おんどりやああ!!っ!?死なない!」

熊対策で持っていたコンバットナイフで心臓を一突きにしたのに!!

「熱っ!」

心臓を刺したのにオッサンが普通に動いている事に啞然としていたらオッサンに肩を掴まれたんだが、その手が滅茶苦茶熱い!!

「イツ……テエエ!!」

左肩を噛みやがったこの化物!!ゾンビかテメエは!!

「この化物が!!」

……あ、あれ?マジで殴りはしたけれど、殴ったオッサンの頭が砕けたというか弾けたんだが。

どうなってるんだ?

拳に付いた血も何か蒸気を上げながら徐々に消えていつてるし。

って、オッサンが立ち上がりやがった!!顔が半分吹き飛んでるのにまだ生きてるのかよ!!

というか、コンバットナイフで刺した傷や半分吹き飛んだ顔が再生してる!!

こいつら不死身かよ!?

どうすりゃいいんだ!!